

6年生 「時計に学ぼう」

6年 AB 組に、心の授業として「時計に学ぼう」という話をしました。

協力とは、ある目的に向かって心を合わせ努力することです。助け合いも、仲良くみんなが助け合ったり、助けられたりしながら元気に生きることです。協力や助け合いは、どうしたら上手にできるかという、一つは「相手を尊重すること。」、二つは「自分の責任を確実に果たすこと。」、三つは「お互いに相手を補い合うこと。」です。

例えば、時計は時間を表す短針、分を表す長針、秒を表す秒針、そして見えない場所でたくさんの部品が休まずに働いています。

このように、さまざまな部品が自分の役目を果たすことで正確な時を刻めることから、目標を皆で達成するためには、お互いに「心」と「力」を合わせ、一人ひとりが努力することであり、心を合わせるということは、友だちのことをたくさん考え、大切に思う気持ちであることを話しました。

つまり、お互いに尊重し合うことが、どんなことにでも大切であることを話しました。